

## 真夏の日差しの下、アートが「炸裂」

### 流経大「海の日アートフェス」に市民千四百人が集う

真夏を思わせる陽気の中、流通経済大学新松戸キャンパスで七月二十一日、第三回「海の日アートフェス」が開かれた。会場にはおよそ千四百人の市民が訪れ、様々なアートやパフォーマンス、出店などを楽しんだ。暑さを乗り越え、高齢の方から幼児まで、ホスト役の流経大生とともに世代を超えた交流が生まれ、キャンパスが笑顔と歓声に包まれる一日になった。

今回からは様々なパフォーマンスの舞台を、講堂内から屋外や講堂入り口に設けたミニステージに移して二か所同時に進行、さらに一号館内でもワークショップや展示が随所で行われるなど、三つのゾー

ンに分かれて、交流の輪を広げた。柏市内のバトントワリングチームのオープニングで始まったメインの屋外ステージでは、流経大のチアリーディング部と障がい者チアチーム「ドリームマリナーズ」



青空ステージでチア部とDマリナーズが熱演

がすっかり息の合った演技を披露、ダンス部によるパフォーマンスも繰り広げられた。また、まとまりを増した吹奏楽部も日ごろの練習の成果を發揮した。地域とのコラボもパワーアップ。共創社会学部3年の力石朝日さんのボイスパーカッションとタップダンスによる「パフォーマンス対決」や保育専攻の学生による「プレイセンター」、おなじみの混声合唱団「COROOSKO」の「椿姫」の歌唱などが青空に響いた。

一号館内では四年目を迎えた「であうアート展」がプレ開催。また「海の日」にふさわしく、魚をかたどった



名前シールが配られたり、涼を感じる「金魚すくい」(実際はひよこの模型)も用意されるな



屋外ステージでダンス部の演技を見守る仙台育英学園高校・インターアクト部の皆さん。

ど、キャンパス中が「海の中」を想定したような賑わいが生まれた。さらに出展も盛りだくさん。ベトナム人留学生による「ベトナムコーヒー」コーナーも人気。ルワンダでバナナペーパーづくりを広めた津田さんご夫妻(松戸市馬橋)と学生によるワークショップ、JR新松戸駅や流鉄のブースでは鉄道ファンの子どもたちが塗り絵や着ぐるみ「りゅうのしん」と交流した。

## 仙台育英高生が募金活動

教育共創提携校の仙台育英学園高校のインターアクト部の生徒四人はまず片山直登流経大校長を表敬訪問。そのあと会場内を見学し、募金の趣旨などを



「応援たこ焼き」が人気  
今回初めて登場したコーナーの一つがスタッフ応援プロジェクト。汗だくになった学生や職員、出展者を元気づけようと、共創社会学部地域人間科学科龍崎ゼミの14年生が松戸市産の野菜をふんだんに入れたたこ焼きを焼き上げ、涼と一時の安らぎを求めにきたスタッフにふるまった。「朝採れ」の枝豆や

ほうれん草、地卵で作った地産地消たこ焼きは熱々の仕上がり。会場内を見学に訪れていた片山学長もおいに誘われて激励に訪れ、学生手作りの「おろしポン酢たこ焼き」をとてもほおぼった。

